

科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18039	2	前期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	医療安全管理学 (Medical Quality and Safety Management)				
担当教員名	篠原 一彦				
授業の概要及び到達目標					
<p>医療安全について、ヒューマンエラーの認知科学的基礎・ソフトウェア・ハードウェア・マネジメントからみた事故事例と対策、事例分析の手法、チーム形成・危険予知活動などについて、航空・電力など他の産業領域や消費者安全の事故事例と対策なども含めて学修する。また働きやすさを人間と機械全体からとらえる学際的科学である人間工学についてその概要も学修することで、医療従事者・社会人として必要な安全に関する理念と基礎知識を修得する。</p>					
準備学習等					
<p>医療人として必要な安全と人間工学についての基礎と実践について、講義ごとに配布するレジュメとともに、さまざまな動画も供覧しつつ討議や課題作成を行うので、積極的な講義への参加が望まれる。各講義のキーワードは下記の通りである。キーワードを参考にして、教科書や参考書だけでなく報道や関連図書なども参考に、幅広くかつ自由な関心を持って事前学習を行って講義に臨むとともに、復習や課題作成にも取り組んで欲しい。各講義は90分であるので講義時間に相当する時間を予習復習に割くこと。</p> <p>① 医療事故、ヒューマンファクター科学、SHELLモデル、②認知心理学、錯覚、RasmussenのSRKモデル、エラーの分類、③表示の人間工学、薬品名の類似性、危険薬誤投与対策、④人間工学的設計、作業域、Population stereotype、動線、色彩心理学、⑤疲労と労働負荷、電子カルテとVDT作業の人間工学、⑥フェイルセーフ、フルプルーフ、巻き込まれ事故、産業安全、⑥チーム医療、周術期安全管理、感染制御、⑦医療機器、電磁干渉、非常電源、医療施設の地震対策、⑧児童福祉施設の安全対策、子供の製品事故防止、ISO/IEC Guide50、ベッドの挟まれ事故、⑧スイスチーズモデル、組織事故、RCA、FMEA、⑨チーム医療、KYT、CRM、指差呼称、⑩医療安全調査委員会、事故調査、インシデントレポート、医師法二十一条、⑬医療事故事例、⑭厚生労働省の医療安全施策、被害者のケア、医療従事者自身の安全対策（院内暴力対策）</p>					
成績評価の方法	出席、適宜提出する課題、学期末のレポートで総合的に評価する。				
テキスト	各講義は、講義ごとのレジュメに沿って行うが、講義全体についてまとめた「医療のための安全学入門（篠原一彦、丸善、2005）」も通読すること。				
参考図書	医療におけるヒューマンエラー（河野龍太郎、医学書院、2004） その他の参考資料などは、講義のレジュメで随時紹介する。				

備 考	質問は講義の前後に随時受け付ける。また質問や相談については電子メール（講義時の配布資料に記載する）でも随時受け付ける。 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。
授 業 計 画	
<p>第1回:医療安全とヒューマンファクターの概要：医療安全とヒューマンファクター科学の概要について学修する</p> <p>第2回:ヒューマンエラーの基礎：人間がエラーに陥る心理学・認知科学的要因について学修する</p> <p>第3回:ソフトウェアからみたヒューマンエラー：エラーを誘発する書類や表示、規則等の因子について、誤投与の背景にある薬品名・薬品表示の課題などを例に学修する。</p> <p>第4回:人間工学概論1：人間工学の概要と人間工学に配慮した[ものづくり]について学修する</p> <p>第5回:人間工学概論2：人間工学の観点から疲労についてコンピュータや電子カルテの課題とともに学修する。</p> <p>第6回:ハードウェアからみたヒューマンエラー：機械がもたらすエラーや事故について学修する</p> <p>第7回:医療安全からみた周術期の患者ケア：周術期の患者ケアを例に、安全学の立場から臨床現場の安全対策とチーム医療のとりくみについて学習する。</p> <p>第8回:医療機器の安全：医療機器と医療施設の安全対策について、電気安全やライフラインの安全対策について学修する</p> <p>第9回:日常生活の事故と対策：日常生活用品や地域での事故と対策について学修する</p> <p>第10回:事故の分析手法：RCA や FMEA などの事例の分析手法について学修する</p> <p>第11回:安全のための教育手法：一般産業で活用されている安全とコミュニケーションなどの教育訓練手法について学修する</p> <p>第12回:安全と社会：安全を取り巻く組織風土、社会、法制度の課題について学修する</p> <p>第13回:医療事故の事例解析：医療事故の事例と教訓について学修する</p> <p>第14回:医療安全と行政、被害者ケア：医療安全に関する行政の動きや事故の被害者ケアについて学修する</p> <p>第15回:トピックスとレポート作成の準備：医療安全に関するトピックスを提示し、レポート作成の準備を行なう。</p>	